



VOCALOID Kagamine Len + KAITO FANBOOK #31  
series last story

サイレントワルツ 3

R18  
成人向け

NOVALIS Imperial EN-KAITO FRODOBAST  
series last story



**\*ここまでのあらすじ\***

音楽活動を引退して、ミク・リン・レンの面倒をみる事になったメイコとカイト。レンの女遊びを止めさせるために、カイトが女の子にかわりになることに。

付き合っていないけれど、やることはやってる二人です。

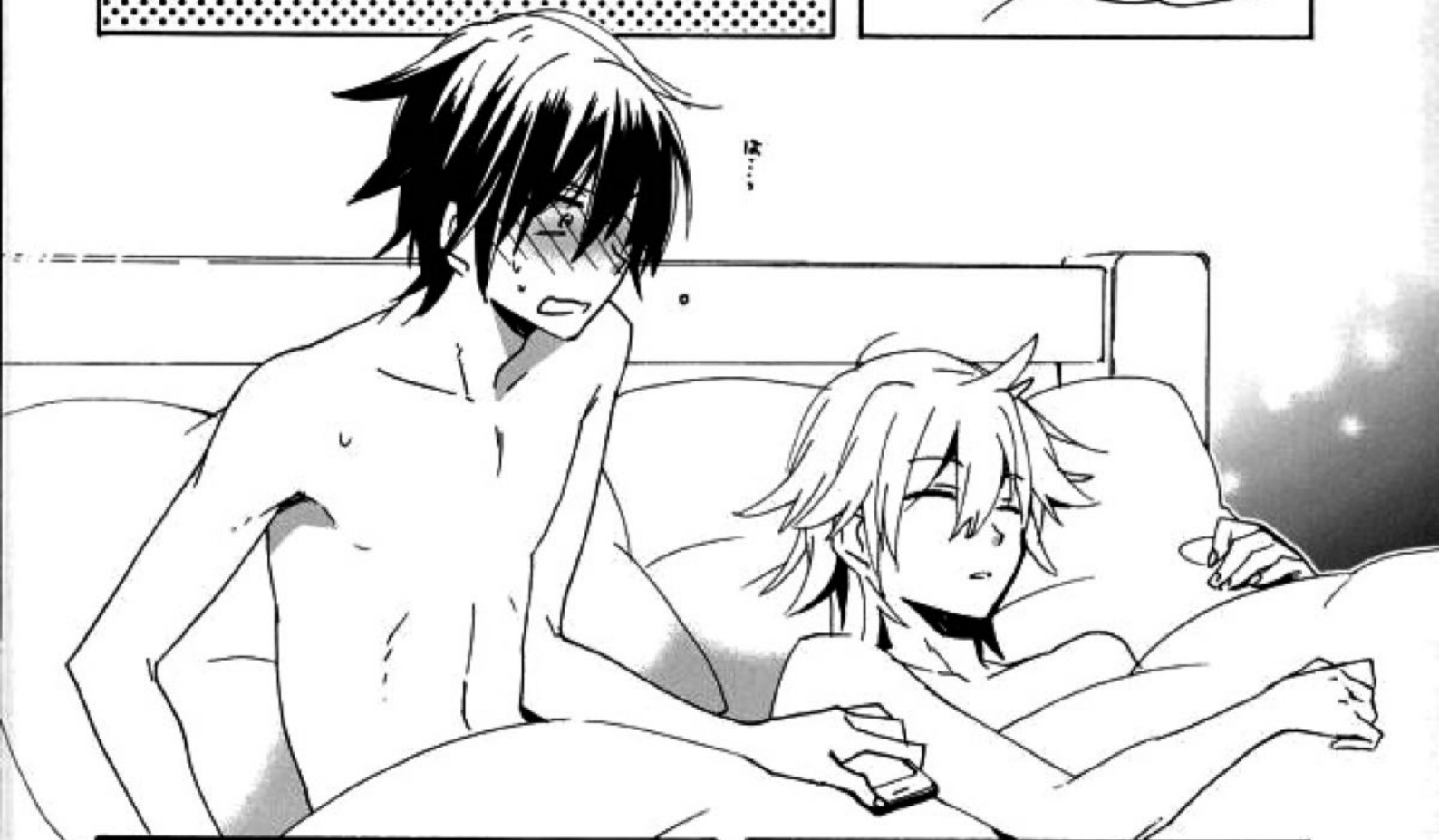


そんな寂しそうな顔しないで、私と歌いましょ



『君たちの音楽活動を休止する』







め……っ

ほ  
ほ

ちゃんと二人の  
面倒みてたー？

ただいまー  
カイト！



めーちゅあ  
あああ  
あ

おかえりー  
まただよー！！

やだーもう  
そんなに  
寂しかったの？



えっ……？  
メイコさん！  
……と……



おにいちゃん  
こんな朝早く  
どうし……

おはよう……





ナンギ

服っ！  
服着ろバカ！

いたっ



……ふふ  
あれが

カイトの言ってた  
問題児かあ



カイト  
カイト  
カイト



今回も  
写真いっぱい  
撮って来たわよ  
景色がすごく  
綺麗でね

えー  
見せて  
見せて！



きゅん  
きゅん

きゅん  
きゅん









メイコさんの事が好きなの？

え？



はあ!?!  
別に……っ  
そんなんじゃない……

あんたが  
起動してから  
ずっと一緒なんだから  
すげー美人だし

めーちゃん  
は好きだけど  
ちがうっつ!



ふうん

ま、今は  
女の子のかわりに  
なるのが  
あんたの役割  
だもんね？



……っ





旧型は  
俺たち新型の  
面倒をみるんでしょ

— だったら

メイコさんも  
あんたと同じ  
選択をするかもね

俺に干渉しないか  
女の子のかわりに  
なるか

あんたが  
選んで  
いいよ

あんたが  
間違っ  
てな  
ければ  
ね

— まちがう？



正しい答え  
なんて  
あるのかも  
わからないのに



どーいう意味  
だよ……



『俺が女の子の  
かわりになる』

『他の誰にも  
手を出すのは  
ダメだからな』



そろそろ  
連絡先整理  
しないとなー



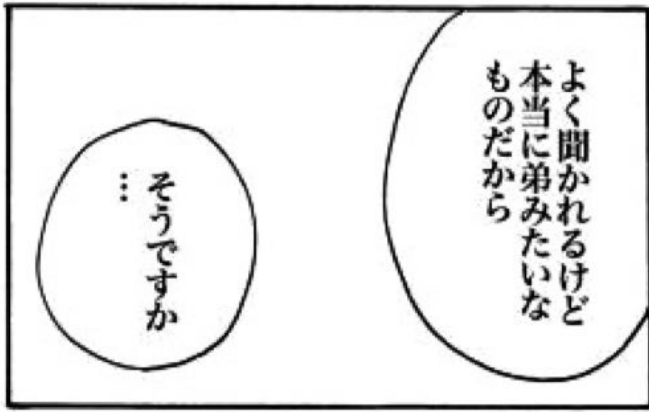




……  
カイトさんと  
メイコさんは  
付き合ってるん  
ですか？



ごめんねー  
昔から不器用な  
子だから  
許してやって

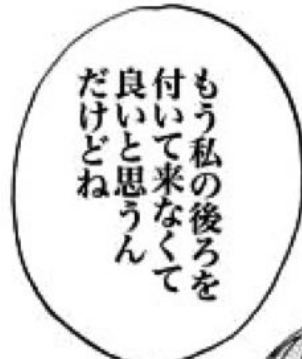


よく聞かれるけど  
本当に弟みたいなの  
ものだから

……  
そうですか



あっ！



もう私の後ろを  
付いて来なくて  
良いと思うん  
だけどね

めーちゃん！  
何レンと二人きりに  
なってるの!?

ブル  
ブル

え？

絶対ダメ！  
用があるなら俺が  
聞くから！

レンは女の敵って  
ヤツだから  
気をつけないと  
……っ！

はあ？

めーちゃん  
みたいな  
美人は近付いたら  
ダメ！



その女の敵と  
仲良くしてる  
くせに……

ぞっ

へえ？  
私とミクがいない間に  
ずいぶん仲良く  
なったのね？  
男同士気兼ねなくって  
良いわね

う……  
いや……

いつも一緒に  
遊んでますよ  
ね？カイトさん？

レン……っ！

今夜も二人で  
夜更かししましょうか

スル

……





うるさあ……っ

誰にも  
バレたくないなら

もっと考えて  
気をつけないと

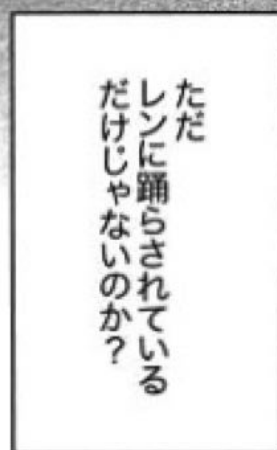
『不器用な子  
だから』

それならなおさら

あんたは  
俺の事だけ  
考えていれ  
ばいい

それが  
あんたの言う  
役割なんだろ

—  
そうだ





ミクちゃんとお仕事だなんて嬉しいな〜!

「ミクちゃん」  
「お仕事だなんて嬉しいな〜!」

それじゃあ私は先に二人を連れて行くから

…カイト?

どうしたのブーツとして大丈夫?

あ、うん! 気をつけてね!

カイトこそ気をつけてね夕方からリンとレンはラジオ収録でしょ

一人でも行くから心配なく

カイトよりレンの方がしつかりしてるみたいね

行きます

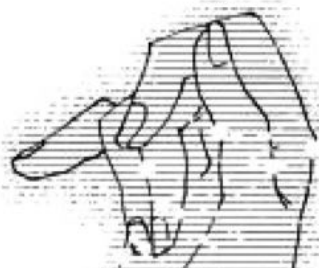
おしんこ







誰かの手を  
取つてもいい



歌えなくなった事を  
あなたは悲しんで  
いたけれど

私は信じて  
いるんだ

ボーカロイドにも



人生があるんだって

う  
...



す...  
するの...?

何?

するよ  
当たり前でしょ



や...

レン...う

う...



や...  
やっぱり俺は  
こんな事...う

グニニ  
グニニ



あ!  
やっとながった  
ねえねえレン君  
今日ヒマ?

夕方から仕事

はい

アハハ  
アハハ





そうなんだ  
じゃあ良かったら  
一緒に……

俺  
バカみたいだ

……ん  
わかった  
少しだけなら  
いいよ

女の子……  
もう遊ぶなって  
言ってるから  
連絡してる所  
見なかったけど

全然切れてないじゃ  
ないか……

そうでなければ  
こんなに……

レンの事だけ  
考える  
——なんて



俺にあんな  
恥ずかしい事  
して

女の子のかわりに  
俺がいるのに

他の子と一緒に  
だなんて

そんなの  
許さない



『怖いなら  
手をにぎってて  
あげる』

あんな風に  
優しくして

必要の無い  
秘密をあたえて

けれど時々  
優しいから

俺は

苦しくて  
扱いたい

こんなこと  
望んでも  
いない

俺は





自分が何言ってるか  
ちゃんと  
わかってんの？

……あなた  
本当に



……




レンなら  
こてー……

行くな  
レン




変な人だな




何で泣いてるのか  
知らないけど

前にも  
言っただろ

あんたは俺の事だけ  
考えてれば良い



それでも  
怖いなら



いくらでも  
手をにぎってて  
あげるから







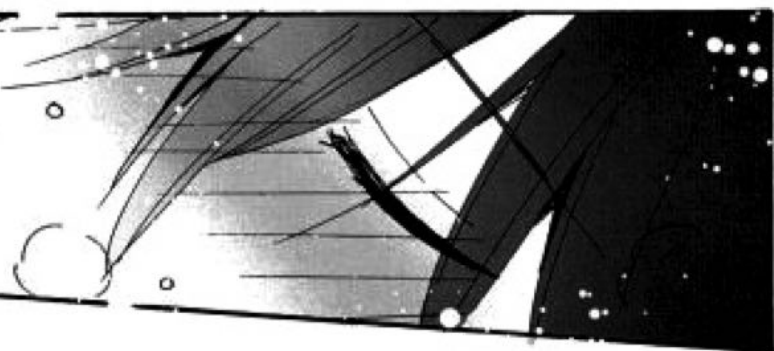


こうみえて  
俺は

結構  
一途だから



そんな事を言う  
レンの手は  
やっぱり優しくて



他の事は  
何も考えられなく  
なってしまった



セックスして

プライベートの  
やり取りを  
チェックして

信じるとか  
信じないとか



か...

いやいや...  
えっ?

ちょっと  
まって  
いつのまだ...

こいつの  
関係を



でも  
俺だけだと  
フェアじゃないから

あんたのも  
見せて

なんて言うんだっけ

おまの...  
おまの...  
おまの...  
おまの...  
おまの...

おまの

おまの...  
おまの...  
おまの...  
おまの...  
おまの...



VOCALOID 010 kepaemineLEN-KAITO FANBOOK#51  
series: last story

サイレントワルツ 3

